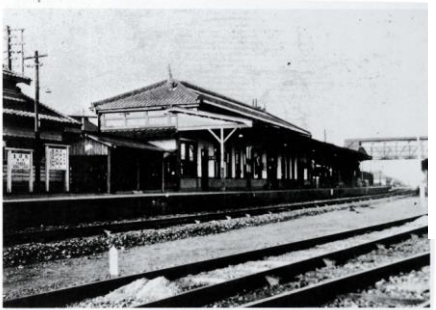


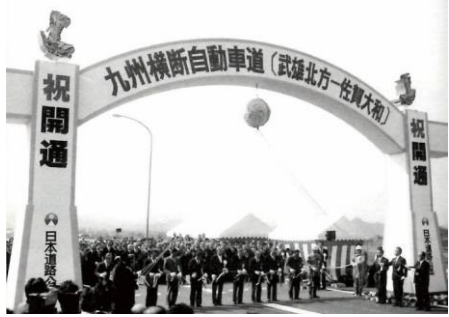
第1次交通変革
(1717年)
長崎街道



第2次交通変革
(1895年)
武雄駅開業



第3次交通変革
(1987年)
九州自動車道



第4次交通変革

2022年
9月23日
西九州新幹線開業

上陸
かもめ



CHANGE TAKEO

生活が変わる
まちが変わる



2022.9.23  金祝

西九州新幹線開業

佐賀・武雄温泉



今武雄に住んでいる人が
ずっと住み続ける。

近隣市町や他県から

移住する人が増える。

今よりも多くの**観光客**が訪れる。

まちを行き交う人が増え、

賑わいが生まれる。

企業が進出し、**雇用**も増える。

地価が上がり、**税収**も増える。

武雄を西九州の**ハブ**都市に

もっと**便利**に
もっと**楽しく**
エリアで**連携**

「**新幹線駅は無機質**」という先例を打ち破る



武雄温泉駅前イベント広場の概要

市民、観光客、学生、ビジネスマンなどが
集まる**まちのリビング**
日常も特別な日も過ごしたくなる場所に。
武雄の雄大な自然、
明治維新时期の蘭学から続く
最先端の「学び」のイメージを
広場の空間演出に活かして。



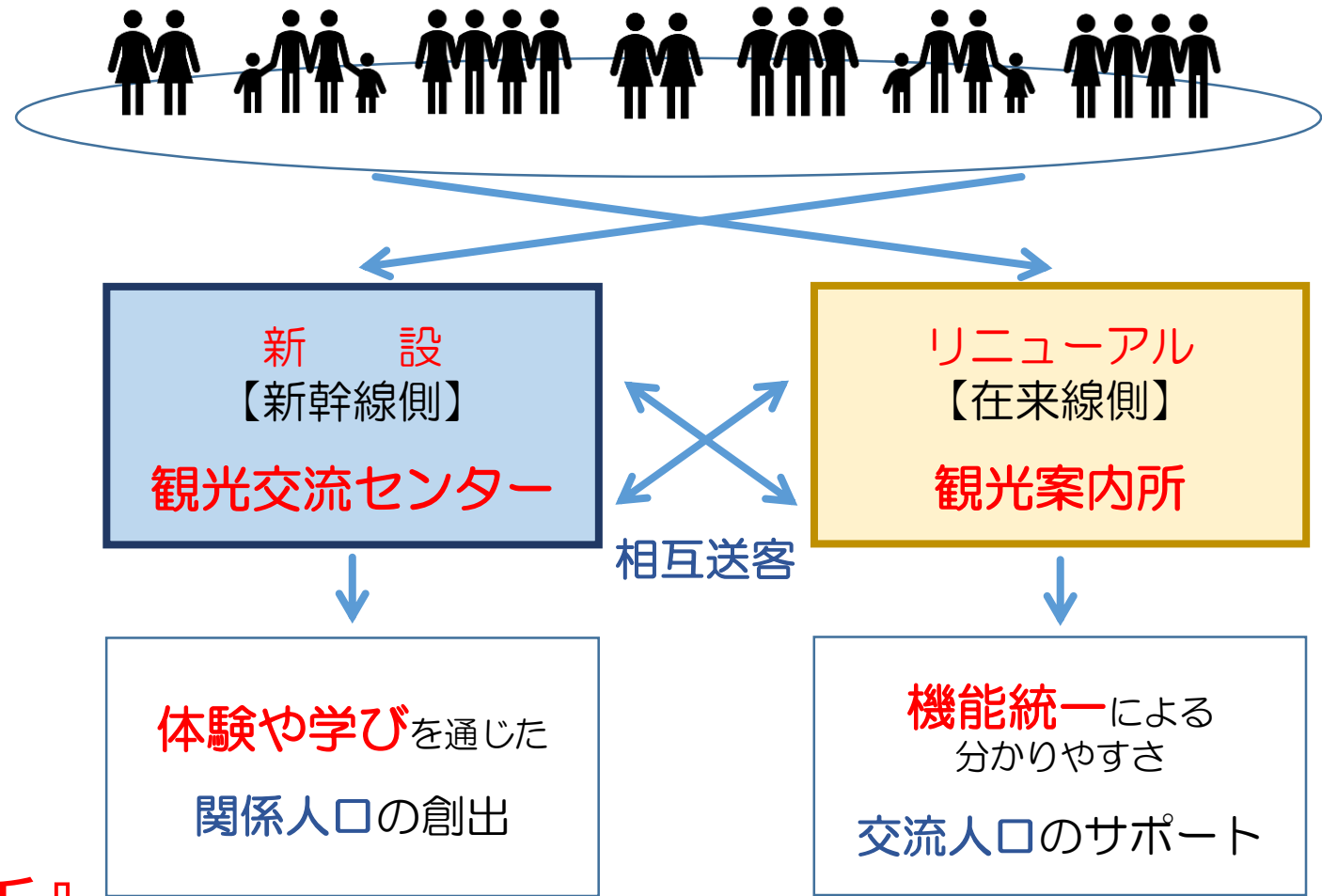
西九州エリアの
観光拠点、
滞在拠点として
中心的な役割を。

用事がなくても
市民が行きたい場所、
西九州の旅の玄関口、
これからの旅の提案も。

コンセプト

『知らない魅力に出会う場所』

新幹線開業による**交流人口の増加**



体験や学びを通じた交流人口を創出する

施設名：**武雄 旅 書店**

- ◆ 観光に閉じない間口の広いイメージを施設自体が持ち合わせる
- ◆ 本や物販を通じて、周辺地域を深く知る場と情報の提供を
- ◆ カフェを設置し、通過型でなく滞在型の場づくりを実施
- ◆ 人やコトとの出会いを提供するイベントの実施

<サイン・ロゴ イメージ>

武雄旅書店
TAKEO TRAVEL BOOKS

武雄旅書店
TAKEO TRAVEL BOOKS

武雄旅書店
TAKEO TRAVEL BOOKS

■ BOOK&CRAFT

武雄を中心とした西九州に関する本・雑誌等を展開する書店。

地域のライフスタイルに関する書籍も、フェアを通じて来訪者に提案。

従来の「お土産」とは切り口の違う、LONG LIFE DESIGNをテーマにした物販展開や地域に根差したお店のPOP-UPを実施。武雄を中心とした西九州全域の「良いモノ」を、生産者の顔やこだわりが見える形で取り扱う。

■ CAFE&BAR

旅のスタート前や電車の待ち時間に良質な時間を過ごせるカフェ。

地域のスイーツなどローカルを感じるメニューの提供。夜はBARにもなり、周辺地域の地酒を楽しむ。

カフェスペースでは様々なローカルを感じるイベントを開催。地域の様々な人に出会える場とする。

■ MEDIA

SNSなどを活用し、情報発信力を強化する。この地域でしか入手できない情報が編集され、地域のディープな魅力を掘り下げるSNSなどを、運営スタッフ自らが取材・編集を担当する。

■ PLACE&EXPERIENCE

店内では定期的に「地域」をテーマにしたイベントを開催。周辺地域の「人」「歴史」「カルチャー」を中心に取り上げ、トークイベントを実施。時にはサブカルチャーや社会課題についても取り上げる。

パースイメージ：【新幹線側】武雄 旅 書店（外観）

▣間口を広くした開放的な入口。内部と外部を一体的に使用できるデッキと入口の空間。高架が見えるトップライト。



パースイメージ：【新幹線側】武雄 旅 書店（物販）

■新幹線駅舎から施設内正面にカウンターを配置。高架下を活かしたデザイン。物販、カフェ、観光のマルチ受付機能。

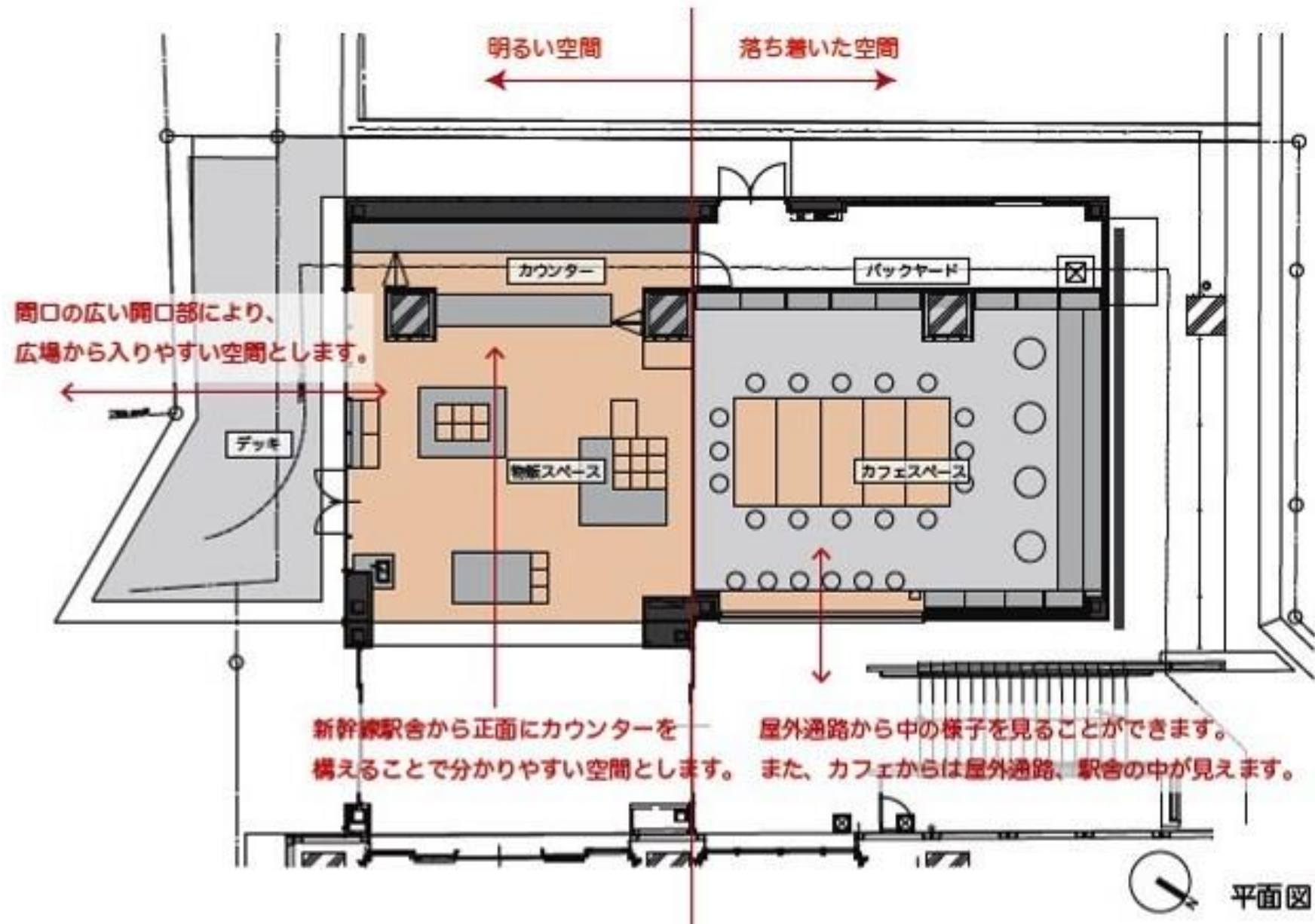


パースイメージ：【新幹線側】武雄 旅 書店（正面）

■施設の奥側にはメインカフェ席。くつろぎと学びのスペース。地域の日本酒等の提供。旅、地域、食などをテーマの本棚も。



施設デザイン：【新幹線側】武雄 旅 書店



分散する窓口を統合し、「分かりやすい」を意識

施設名：**武雄温泉駅観光案内所**

- ◆ 「観光案内所」「たけなび」の機能を統合し、**窓口を一本化**
- ◆ **間口を開放的にし、入りやすい環境整備**とカウンターの**視認性を向上**
- ◆ 物販の設置方法を見直し、**商品の見やすさ・選びやすさ**を向上
- ◆ **武雄焼**の展開を見直し、**アピール力を向上**

<サイン・ロゴ イメージ>

武雄温泉駅観光案内所
TAKEO ONSEN STATION
TOURIST INFORMATION CENTER



武雄温泉駅観光案内所
TAKEO ONSEN STATION
TOURIST INFORMATION CENTER



武雄温泉駅観光案内所
TAKEO ONSEN STATION
TOURIST INFORMATION CENTER

■観光案内所・たけなびの1カウンター化

現在、観光案内所、たけなびと2ヶ所に分かれているカウンターを1ヶ所に集約し、来訪者に対しシンプルでわかりやすい窓口を実現する。業務内容についてはこれまでの窓口機能を踏襲し、案件に応じて対応を行う。

■入りやすさを重要視し、オープンな間口に変更

在来線側改札口方面、また駅構内から観光案内所の内部が認識できるよう、自動ドア、仕切りを撤去。間口を広げオープンな環境へ変更する。

■地域の土産や武雄焼の展開方法をリニューアルし、わかりやすさと販売力を強化

物産・土産の什器及び商品陳列の見直しを図り、より商品の良さが伝わる工夫を行う。武雄焼展示を待合いフリースペースへ移設し、より多くの方に見ていただけるよう変更する。

■待ち合いスペースの計画

始発から終電まで、駅が開いている時間帯に利用可能な待ち合いスペースを設置する。

パースイメージ：【在来線側】観光案内所（正面）

▣ 「たけなび」「観光案内所」を一本化。正面から利用者をお迎え。武雄温泉らしい暖簾で演出。



パースイメージ：【在来線側】観光案内所（物販スペース）

■ サッシの囲いを撤去し、開放的な間口へ。物産や土産など商品自体も見やすいディスプレイに。

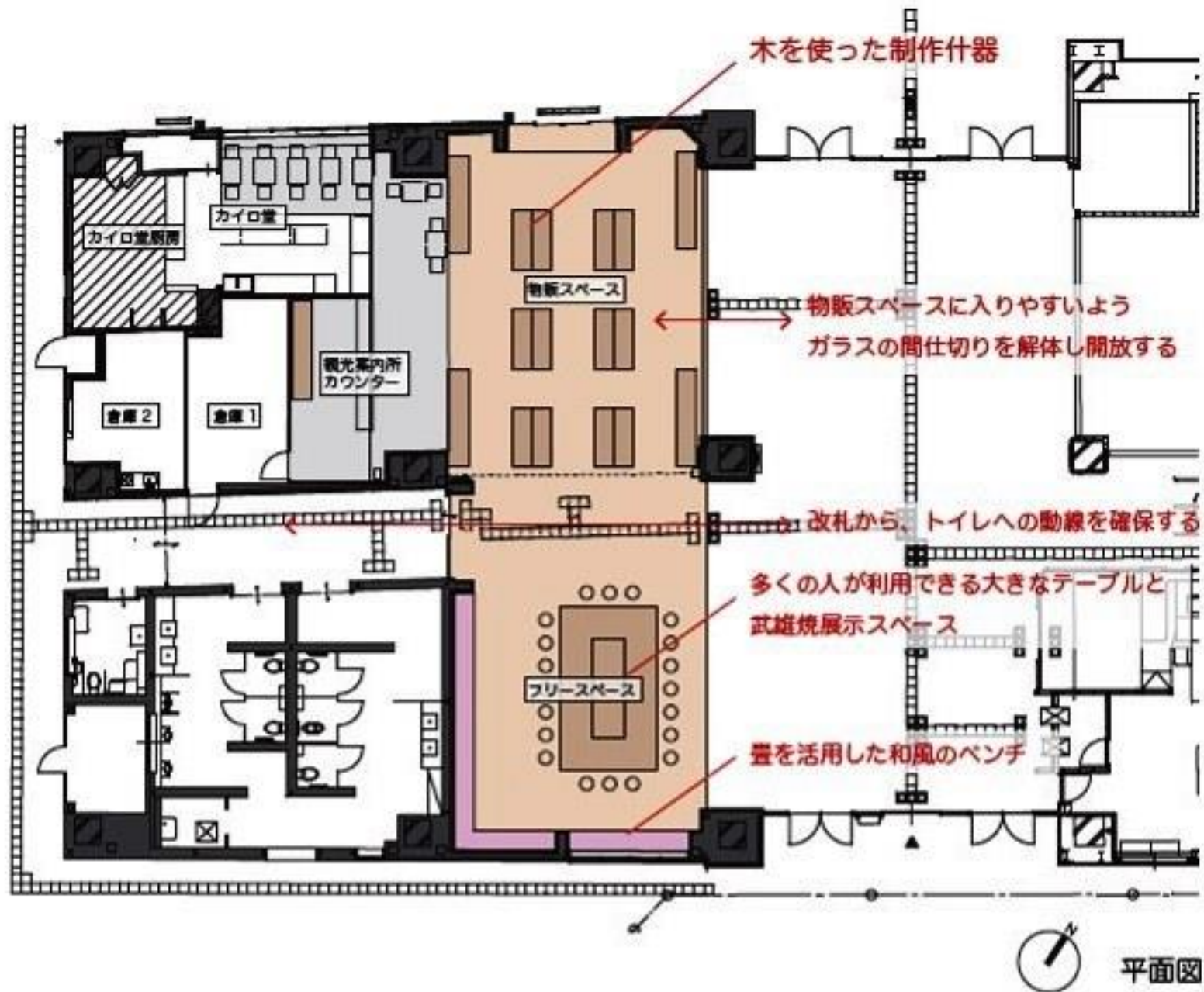


パースイメージ：【在来線側】観光案内所（フリースペース）

■通勤・通学・観光の駅利用者や市民がくつろげる待合スペース。武雄焼の紹介、電源やWi-Fi環境も整備。



施設デザイン：【在来線側】武雄温泉駅観光案内所



施設運営計画：【両施設】基本情報（概要）

	在来線 武雄温泉駅観光案内所	新幹線 武雄 旅 書店
営業日	年中無休	年中無休
営業時間	8:30-18:00 ※12/31～1/2休館	↑UP 8:00-21:00※12/31～1/2休館
座席数	↑UP 待合スペース：約35席	↑UP カフェ：約30席
実施事業	↑UP 物販（武雄の土産物）	↑UP 物販（本、西九州の土産物）
	武雄市観光協会と連動した観光案内 （宿の空き情報や体験ツアー案内等）	↑UP 簡易的な観光案内 （交通案内や一次受付等）
	たけチャリ	↑UP イベント・講座の開催
	荷物の一時預かり	
その他	FREE-Wi-Fi	↑UP FREE-Wi-Fi
	↑UP 電源席	↑UP 電源席